

第2次行財政改革プラン進行管理

NO	取組項目	これまでの取り組み	進捗評価 A: 計画以上 B: 計画どおり C: やや下回る D: 不十分	今後の取り組み
1	町民との協働型行政の仕組みづくり	補完性の原則を基本とした協働型行政のあり方について検討した。	C	日出町協働指針（仮）の策定に向けた協議を行う。
2	ボランティアネットワークの充実	日出町地域福祉計画の策定、自主防災組織の見直しや日出町シルバー人材センターの設立を行った。	C	福祉・防災・生涯学習等の各種団体による支え合いネットワークの構築を検討する。
3	実行委員会方式によるイベントの開催	産業まつり・成人式等のイベント開催にあたっては、実行委員会による企画・運営を行った。	B	広く町民が参加する実行委員会を組織し、町民ニーズに対応する企画運営を行う。
4	地域コミュニティの強化	ふれあいセンターが地域コミュニティの拠点となるよう検討した。	C	ふれあいセンターと地区公民館の融合に向け、検討・協議を行う。
5	新たな地域資源活用の推進	裏門櫓の移転・保存修復及びウォーキングコースの創出を行った。	B	致道館の保存修復や日出城趾周辺を中心とした多彩な観光メニューの創出を図る。
6	新たな地産地消の推進	ひじ産業まつりにて、創作コンテストの開催、レシピの配布を通じて地産地消をPRした。	C	地元の農海産物や直売所に関する魅力ある情報を町内外に発信する。
7	新たな地域人材活用の推進	学校支援ボランティア人材バンクを創設し、校区コーディネーターを選出するなど組織作りを行った。	C	学校・保護者・地域が協働し、子どもたちを育てる環境整備を図る。
8	人権教育・啓発の推進	職場研修や人権フェスタを開催し、人権啓発を行った。	B	地域・教育現場・企業団体等における人権教育・啓発に関する情報を発信する。
9	行政情報の積極的な発信	町報・町ホームページによる最新情報の発信に努め、日出町ポータルサイトや町政ふれあい講座の開設を行った。	B	日出町ホームページをはじめ、あらゆる媒体を活用し、積極的に情報発信を行う。
10	職員の出前講座の推進	町政ふれあい講座を開設し、町報及び町ホームページにて周知した。	B	町民ニーズを把握し、魅力ある講演テーマを創出する。
11	町民相談窓口の整備	町民が気軽に相談でき、適切な回答を得ることができる窓口を検討した。	B	相談窓口一覧の作成や電算システムの構築により相談先が一目でわかるようにする。
12	パブリック・コメントの推進	パブリック・コメント制度の検討を行なった。	D	制度の適用基準等を検討する。
13	公募の推進と委員選考の見直し	各審議会等の任期と女性の占める割合を把握し、関係課に女性の積極的な登用を呼びかけた。	C	公募による委員の選考と各種委員会等の女性の構成比率の向上に務める。

NO	取組項目	これまでの取り組み	進捗評価	今後の取り組み
			A: 計画以上 B: 計画どおり C: やや下回る D: 不十分	
14	町単独の各種補助金・交付金の見直し	予算編成・査定時に交付団体の収支報告書をもとに検証を行った。	B	自主運営を基本とし、自主財源の確保に務めるよう意識付けを行う。
15	費用対効果に基づいた事務事業の見直し	予算編成・査定時に新規事業や重点事業の実施計画について事前評価を行った。	C	業務棚卸による事業の見える化と事務事業評価の導入を図る。
16	事務機器・用品等の購入管理	用品基金の廃止に伴い、共通用品の一括購入・管理を導入した。	C	事務用品と備品の一元管理体制の構築を検討する。
17	受益者負担の適正化	継続的に見直しを行う仕組みを検討した。	C	減免対象の見直しを行い、定期的に検証を行う。
18	教育施設における光熱水費節減の推進	教職員及び児童生徒に節電・節水についての呼びかけや消し忘れ防止のための校内巡回を実施した。	B	教職員及び児童生徒への指導の徹底と省エネ機器の導入を行う。
19	光熱水費節減及び消耗品等の効率的活用の更なる推進	クールビズの推進やコピー用紙の集中管理による使用量削減を図った。	B	コピー用紙等の用品の管理を徹底するとともに、LED照明等の施設改修を検討する。
20	福祉施策の充実	高齢者保健福祉計画・次世代育成支援計画等の各種計画を策定した。	B	各種計画を推進するため、具体的な施策及び工程を検討する。
21	耕作放棄地対策の推進	耕作放棄地の実態把握を行い、緊急雇用創出事業を活用して耕作放棄地の草刈を実施した。	C	農用地の出し手と受け手の情報交換や利用調整により耕作放棄地の発生を防ぐ。
22	環境を大切にすまちづくりの推進	広報媒体によるゴミ減量化の啓発と生ゴミ処理機の普及促進等を実施した。	A	ゴミ減量化計画の策定に向け、検討を行う。
23	健康を支える環境づくりの推進	健康教室・健康相談・栄養教室等を開催し、生活習慣病予防や介護予防の普及啓発を行った。	B	健康管理意識を高め、特定健診の受診率・特定保健指導の実施率の向上を図る。
24	使用料、手数料の見直し	予算編成・査定時に妥当性の検証を行った。	B	コストと料金のバランスと他市町村の状況を勘案して検討する。
25	資産の有効活用	公有財産台帳システム導入し、財産管理の一元化を図った。	B	財産管理の一元化により、普通財産の売却や公有財産の有効利用を図る。
26	町税・料金収入などの更なる確保	納税者への説明責任能力の向上と収納管理システムの導入による効率化・迅速化を図った。	B	債権差押・動産差押・公売を推進するなど町税債権の確保に務める。
27	下水道接続率向上の更なる推進	広報・チラシによる啓発を行い、日出町管工事組合へ接続工事の実施勧誘を依頼した。	C	未接続世帯への定期的な訪問説明や町報等を通じた啓発を行う。

NO	取組項目	これまでの取り組み	進捗評価	今後の取り組み
			A: 計画以上 B: 計画どおり C: やや下回る D: 不十分	
28	公共施設運営・整備への経営視点の導入	国・県と連携による一体的な道路整備や的山荘への指定管理制度の導入を行った。	B	公共施設と行政サービスに係るコストを見直し、有効活用する。
29	企業誘致の積極的な推進	町独自の優遇措置を設けた条例を制定するなど、積極的な企業誘致を行った。	B	企業誘致のための適地発掘、情報収集を行い、町内外への情報発信に務める。
30	予算編成・査定制度の見直し	枠配分予算方式を導入し、予算編成・査定制度の見直しを行った。	C	事務事業評価を導入し、枠配分予算方式の実効性を高める。
31	組織の再編・課・係の見直し	事業整理や統合を視野に人員配置の見直しを検討し、町民が利用しやすい組織の構築を検討した。	C	業務棚卸により事業の目的及び業務量を洗い出し、体系的な整理再編を行う。
32	地域づくりの核となる施設への転換	ふれあいセンターと地区公民館の融合を検討した。	C	ふれあいセンターの役割を見直し、特色ある活動ができるよう整備を進める。
33	幼小中学校区の見直しと学校規模の適正化	校区の見直し、学校規模、児童生徒数の適正化について検討した。	D	校区の見直し、学校規模及び児童生徒数の適正化を図るための方策を検討する。
34	契約検査体制の検討	契約検査室を新設し、公共工事に係る入札・契約・検査業務の一元化を図った。	B	物品・業務委託契約について見直しを検討する。
35	豊岡地区の拠点施設の統合の検討	豊岡ふれあいセンター分館の業務を停止し、豊岡ふれあいセンターへ機能統合を行った。	B	施設の老朽が著しいことから、取り壊しも視野に入れ活用方法を検討する。
36	窓口業務の見直し	総合窓口・ワンストップサービスの検討を行った。	B	利用の多い窓口をワンフロアに集中できないか検討を行う。
37	給食運営のあり方の検討	日出町学校給食共同調理場整備計画検討委員会設置要綱を策定した。	B	日出町学校給食共同調理場整備計画検討委員会を設置する。
38	機能的な図書館業務の検討	日出町子ども読書活動推進計画を策定した。	A	限られた予算とスペースで、利用者の要望に対応できる資料提供を行う。
39	処理場・浄水場の維持管理委託の検討	下水道施設と一体化した浄水場の監視システムを導入し、小田城浄水場を無人化した。	B	専門技術者による点検と長寿命化計画による老朽設備の計画的更新を行う。
40	効率的な地籍調査業務の検討と活用	地籍調査業務の外注化を行い、職員の1名減員と終了予定年度の早期化を図った。	B	調査面積を増やし、地積調査事業完了の早期化を図る。
41	「定員適正化計画」の策定・管理	長期的展望に立ち、退職者数の把握に努め、事務の効率化を検討しながら定員管理を行った。	C	必要最低限の職員で行政運営を行うため、単年度目標で定員管理を行う。

NO	取組項目	これまでの取り組み	進捗評価	今後の取り組み
			A: 計画以上 B: 計画どおり C: やや下回る D: 不十分	
42	職員の適正な配置	課長ヒアリングを実施するなど、職場実態に即した人員配置に務めた。	C	事務事業や組織機構の見直しを行い、適材適所の人員配置に務める。
43	非常勤・臨時職員の効果的な雇用	職場実態を把握し、必要性を検討したうえで適正配置に務めた。	C	当初の配置目的と現行の所掌業務の検証を行い、必要性を再検討する。
44	職員給与のあり方の検討	5%の職員給与の減額を引き続き実施した。	C	給与制度のあり方について、調査・研究を行う。
45	特別職の給料の検討	町長12%・副町長8%・教育長8%の報酬減額を引き続き実施した。	C	近隣・類似団体の状況を調査し、均衡を保つ。
46	時間外勤務の検討	事業の見直しや適正な人員配置による時間外勤務の削減に務めた。	C	事務事業の見直し、適正な人員配置と臨時職員等の効率的な活用を図る。
47	人材育成基本方針の策定	人材育成に係る職員意識調査と町民アンケートを実施し、日出町人材育成計画を検討した。	C	日出町人材育成計画の策定とそれに則った人材育成に務める。
48	研修制度の充実	新たに町独自の階層別研修や民間派遣研修を実施した。	B	新たな研修方法や研修成果を高めるための仕組みを検討する。
49	職員提案制度の充実	職員提案をもとに第2次行財政改革プラン実施計画書を策定した。	B	提案内容を具体化するための検討組織を立ち上げる。
50	地域貢献活動への積極的参加	地域活動への積極的な参加を奨励した。	C	地域貢献型研修の実施に向けた検討を行う。
51	町長などとのコミュニケーションの機会の設定	新採用職員を対象に町長との懇談会を実施した。	C	年代別に懇談会を実施する。

A 計画以上	2
B: 計画どおり	24
C: やや下回る	23
D: 不十分	2